



forum

おかだ直樹事務所

(自由民主党石川県参議院選挙区第二支部)
事務局/〒920-8203 金沢市敦月4-115
金沢シーサイドビル4階
TEL.076(255)1931 FAX.076(255)1961
メールアドレス/okada000@kanazawa@okada-naoki.net
URL http://www.okada-naoki.net

国土交通委員長に就任

岡田直樹

震災復興の重責担う

岡田直樹参院議員は十月二十日、参院本会議において国土交通委員長に指名された。国交委員会は東日本大震災の復旧・復興はもとより、日本全体の災害対策や交通網の整備など幅広い課題を審議する場で、その委員長は衆人が望む重要ポスト。北陸新幹線の金沢以西延伸という地域課題も抱える岡田直樹にとっては願ってもない起用であり、就任早々、政府に早期の新幹線着工認可を迫るなど意欲的な動きを見せている。



北陸新幹線延伸に光

今回の人事では、国交委員長に希望者が集中したが、岡田直樹が国交大臣政務官を務めた経験や、先の通常国会でも整備新幹線促進の議員立法を提出するなど活発に動いたことが評価された。

十一月十日、岡田直樹を団長とする国交委員会視察団は、大津波で壊滅的打撃を受けた陸前高田市などを訪れ、市幹部と新たな町づくりを議論し、「津波対策地域づくり法案」の審議に反映させた。同法案は十二月七日、岡田直樹が参院本会議の壇上で委員長報告を行い、全会一致で成立した。

一方、岡田直樹が政務官時代に金沢以西の着工認可に向けた政府・与党合意が決まった北陸新幹線は、政権交代により凍結状態になっていた。先の通常国会で岡田直樹は二度にわたって災害時の北陸新幹線の意義を問い、大島章宏国交大臣(当時)から「東海道新幹線の代替補完機能を有する北陸新幹線の意義は大きく、建設に力を注ぎたい」との踏み込んだ答弁を引き出した。

委員長就任後も岡田直樹は金沢一敦賀間の建設促進に向けて精力的に動き、二十三年内または同年度内に待望の着工認可の見込みも出てきた。

「津波対策地域づくり法」の委員長報告をする岡田直樹

12月7日、参院本会議

岡田直樹

被災地を駆ける！

国難克服に
全力尽くす
公共投資でデフレ脱却



福島第一原発警戒区域に入る岡田直樹（中央）＝10月18日

運命の平成二十三年三月十一日、国会対策副委員長だった岡田直樹は参院決算委員会（質問に立ち、菅直人首相（当時）に対して外国人献金問題などを鋭く追及していた。その質問が終わってわずか二十分後、東日本大震災が発生したのである。

その瞬間から政情は一変した。菅政権と激しく対決していた自民党は、この国難に際して政府・民主党に協力する姿勢を明らかにした。震災対策の第一次補正予算はゴールドンウィーク返上で、第二次補正予算は旧盆返上で成立させ、震災関連法案はいずれもスピード審議で成立させた。

しかし、この協力にこたえず、独善的な姿勢や思い付き的な行動で震災の復旧・復興を遅らせたのが菅前首相であった。菅氏が長期間政権に居座ったことは被災者にもちろん日本国民にとつて大きな不幸であった。

この間、岡田直樹は国会対策の職務を果たしながら、被災地を訪れ、現地の実情を把握して復旧・復興策に反映させた。福島第一原発の警戒区域に入り、その困難な状況も体感した。

国土交通委員長就任の前後に二度訪れた岩手県陸前高田市では、大津波で町ごと押し流された状況の中で四十六歳の戸羽太市長と高台移転の是非を論じた。戸羽市長は震災で二十八歳の妻を失った悲しみを

参院で十二月九日、一川保夫防衛大臣、山岡賢次国家公安委員長、消費者担当大臣の間責決議案が賛成多数で可決された。

一川氏は就任直後、自らを「安全保障の素人」と述べたのをはじめ、ブータン国王を歓迎する宮中晩餐会を欠席して民主党議員の政治資金パーティーに出席したことや、普天間飛行場移設問題の発端となった「沖縄少女押し殺すようにして、ふるさとの復興に心血を注いでいる。」

この国難、特に原発対応は想像を絶する長期戦となる。しかし、前途を悲観ばかりしては行かない。岡田直樹は十一月二十九日「安全・安心の道づくりを求める全国大会」で国交委員長としてあいさつし、「災害列島とも言える日本の国土を強化し、将来に向けた大胆な公共投資でデフレ経済からも脱却しよう。もう一度、活力に満ちた明るい日本を作り上げよう」と訴えた。

また、山岡氏は以前、マルチ商法を推進する暴行事件」について「詳細には知らない」と答弁するなど一連の言動で防衛大臣の資質を問われた。

再生」=写真=も作成された。ポスターの問い合わせは、〒920-8203、金沢市鞍月4-115、金沢ジーサイドビル4階、岡田直樹事務所=電話076(255)1931=まで。

2月11日に新春国政報告会



恒例の岡田直樹新春国政報告会は、来年2月11日（建国記念の日）午後3時から金沢市堀川新町のホテル金沢で開かれる。

岡田直樹が国土交通委員長就任の抱負を述べるとともに、衆院解散・総選挙に向けて、石川県内三小選挙区での全勝と自民党の政権奪還を誓う場ともなる。

報告会の告知を兼ねて岡田直樹の新しいポスター「日本

一川、山岡大臣に問責
政権奪還のとき近づくと
政権奪還のとき近づくと

議員連盟の会長を務め、勧誘するようないさつをしていたことが、消費者担当大臣として不適格とされた。野田佳彦首相は両大臣を続投させる方針を示したが、首相自身の任命責任も問われ、現在の内閣で次期通常国会に突入した場合、混乱は必至。増税一辺倒の野田氏の姿勢には国民の反発も高まり、急落している内閣支持率は更に低下する

率に更に低下する